

# 令和6年度の学校経営について

## 1 学校教育目標

**進んで学ぶ 心やさしく たくましい 子供の育成**

### 2 目指す子供像「夢に向かう子供」

- 互いのよさを見つけ、認め合う子供（徳）
- 自ら学び、最後までやり抜く子供（知）
- しなやかで打たれ強い心と体を持つ子供（体）

### 3 目指す教師像「謙虚に、学び続ける教師」

- 子供一人一人のよさを見つけ、大切に作る教師
- 授業の充実を目指し、日々授業改善に取り組む教師
- 高いコンプライアンス意識を持ち、個性を發揮しながら共働できる教師

### 4 目指す学校像「安心して学び、安心して託せ、安心して働ける学校」

- 子供も職員も毎日の学校生活に期待感を持つ、「行きたくなる学校」
- 子供も職員も一人一人が尊重され、「自己存在感を実感できる学校」
- 子供も職員も自他の個性を尊重し、「共感的な人間関係を味わえる学校」
- 保護者、地域が安心して子供たちを託せる、「信頼される学校」

## 5 学校経営方針

- (1) 子供たちが安心して学び、保護者や地域が子供たちを安心して託せ、職員が安心して働ける学校づくりを推進する。
- (2) コロナ禍等の変化の激しい時代の中で「これまで」に過度にとらわれることなく、「これから」を見通した「働き方改革」を推進し、持続可能な教育活動を展開する。
- (3) 保護者、地域、関係諸機関との連携を強化し、信頼される学校づくりを推進する。

## 6 学校教育目標を達成するための重点施策と具体的取組

- (1) 学力向上と主体的・対話的で深い学びのある学習指導の展開（自ら学び、最後までやり抜く子供）
  - ①「子供の学びを支援する5つの提言」の確実な実践を進める。
  - ②基礎・基本の確実な理解と定着、個別最適な学びの充実を図る。
  - ③GIGA端末を積極的に活用した協働的な学びを充実させる。
  - ④家庭における学習習慣の確立と家庭学習の充実のための指導を工夫する。

【具体的取組】・県教委「子供の学びを支援する5つの提言」、町教委「3つの提言」を受けた授業実践・スキル学習「ステップアップ、チャレンジタイム」の充実を通じた基礎学力の定着と応用力の向上・複式授業の充実（自分で学ぶ時間と学び合いをする時間を効果的に組み合わせた授業づくり）・複式学級移行を見据えたGIGA端末の積極的な利用・家庭学習の充実に向けた取組・金融教育の推進

- (2) 豊かな心を養う教育活動の展開（互いのよさを見つけ、認め合う子供）
  - ①生徒指導の四視点（自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成）を生かした学級経営を進める。
  - ②想像力を広げ語彙を増やすと共に豊かな心を育てる読書活動の推進と習慣化を図る。
  - ③他者（保護者、地域人材、外部講師等）と関わる場面を大切に、多様な価値観に触れる機会を多く設定し、地域連携及び志教育の充実につなげていく。
  - ④特別支援教育の充実（個々の特性に応じた支援）を図る。

【具体的取組】・生徒指導の四視点を意識した学級経営の充実・iチェック、鶴巣っ子アンケート等を活用した情報共有（気になる点+頑張っている点）・全職員による児童への「称賛（褒める）承認（認める）奨励（励ます）」の励行・読書活動の推進（読書タイム・スキマ時間の有効活用・図書支援員との連携）・志教育の充実（地域連携活動、キャリアパスポートの活用）・特別支援教育の校内体制構築（ケース会議、関係諸機関との連携）

- (3) 自分の健康に関心を持ち、しなやかで打たれ強い心と体づくりの推進 しなやかで打たれ強い心と体を持つ子供（体）
  - ①教科体育の工夫や外遊びの奨励を通して在校時間内の運動量を増やし、子供の基礎体力を高める。
  - ②自分の体と健康に関心を持たせるために、保健指導、食育指導の充実を図る。
  - ③自分の命は自分で守るための防災教育、安全教育の充実を図る。
  - ④メディアの効果的な使い方を知り、自分でコントロールする力を身に付ける。

【具体的取組】・教科体育の充実と外遊び奨励（元気アップタイム、体育カードの日常的な活用）・保健指導、食育指導の充実（養護教諭の専門性を生かした取組と保健便りの有効活用、食に関する指導）・みやぎ防災教育副読本の有効活用（副読本、ワークシート）・定期的な防災マニュアル読み合わせ・情報モラル教育（教科授業を通して、児童会の取組）